

# 一般社団法人 日本自動車会議所 定時総会懇親会

2019年5月28日  
場所：経団連会館

## 内山田 竹志会長 ご挨拶

日本自動車会議所会長の内山田でございます。

本日は、皆さま、大変お忙しい中、日本自動車会議所の総会懇親会にご参集いただきまして、ありがとうございました。

特に、ご来賓としてお越しいただいております、関 経済産業副大臣、大塚 国土交通副大臣のお二人をはじめ、自動車議連・懇話会をはじめとする国会議員の皆さま、本当にありがとうございます。また、各関係省庁の皆さまにおきましても、多数ご臨席いただき、日頃、自動車政策にあたりまして大変お世話になっております。高いところからであります、お礼申しあげたいと思います。本当にありがとうございます。

先ほどの定時総会・理事会が、おかげさまで無事、終了することができました。今年度の事業計画として、当会議所の一番の中心となる活動である政策提言のほかにも、交通事故ゼロを目指した活動、そして今年開催される東京モーターショー、来年の東京オリンピック・パラリンピックを自動車に関わる産業が一体となって盛り上げていくということと、自動車・自動車産業への好感度を盛り上げるということを、事業計画として皆さまにご承認いただきました。

とりわけ税制につきましては、昨年、自動車税の恒久減税化が実現しましたことに、皆さまのご支援に改めて感謝申し上げます。ただ、減税後の税負担は世界的に見てもまだまだ高いレベルであり、引き続き会議所として「自動車関係諸税の負担軽減・簡素化」に向けて活動してまいりますので、どうぞこれからもよろしくお願い申し上げます。

今まさに、米トランプ大統領が来日しておりますが、昨日の記者会見では、長年の懸案となっている通商問題について、安倍首相は「米国経済に最も貢献しているのは日本です」と明言されております。私ども自動車業界もそういう大きな自負を持っており、自動車に関連する団体・企業が力を合わせて、アメリカのお客様のためにどうしたらいいのかを知恵を出し合って努力してまいりました。むやみに日本からアメリカに生産をシフトしてしまえば、日本の膨大なサプライチェーン産業そのものが成り立たなくなってしまう。是非、今日ここにおられる皆さまからは引き続きご協力・ご支援・お力添えをいただきたいと存じます。

本日は限られた時間ではありますが、せつかくの場ですので、ご懇談を通じて、私どもにご指導・ご協力をいただければ幸いです。

本日は誠にありがとうございました。

以上